

下田の歴史とのつながりを感じるジオ学習

(文責 下田市立下田小学校 渡辺 将英)

本校では、数年前より、美しい伊豆創造センターと地元のジオガイドさんの協力のもと6年生が総合的な学習の時間でジオ学習を実施しています。

本年度は、須崎半島にある弁天島とペリーロードでのフィールドワークを行いました。弁天島では、海底火山の噴火でできた地層を見たり、生痕化石や貝、ウニなど海の生き物の化石を夢中になって探したりしました。ペリーロードでは、地層によってできた伊豆石を使用した建物や条約の締結場所として有名な了仙寺をめぐりながら下田の歴史についても教えていただきました。

下田は、幕末の時代に来航したペリー提督一行が日米和親条約付録下田条約締結を行い、外国人が初めて自由に歩けるようになった場所として有名です。そうなったのも、海底火山の噴火と土地の隆起によってできた須崎半島があり、よい風待ち港として栄えていたからというお話をさせていただきました。今回の学習で、ジオサイトとしての魅力を感じるだけでなく、これまで学習してきた下田の歴史的魅力とのつながりを実感することができ、子どもたちの郷土に対する関心や愛着が深まる学習となりました。



弁天島の地層を観察



生痕化石を探して



ジオガイドの話に耳を傾ける



ペリーロードで幕末の様子を思い浮かべる

いずっぱこジオトレインが登場

伊豆箱根鉄道と当センターで企画している「いずっぱこジオトレイン」の新たなデザイン車両が、12月3日(土)より運行を開始しました。この企画はこれで第五弾となり、今回は韮山高校写真報道探究部の1・2年生9人が、写真映えをテーマに、伊豆半島内の14カ所を訪れておすすめのフォトスポットを撮影ポイントの解説つきで紹介。計20種類のシールが駿豆線3000系3503編成の窓に貼られており、同部員がデザインしたオリジナルのヘッドマークを冠して、1日に2～10往復しています。

5日に修善寺駅で行われた運行開始式では、部員、伊豆箱根鉄道、当センターの関係者がテープカットを行い、お披露目となりました。



制作した写真報道探究部員



自らが携わったシールを発見



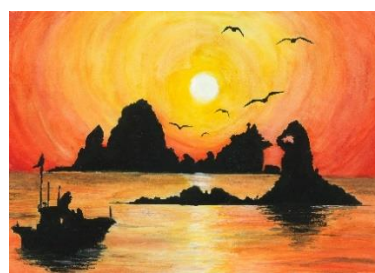
全部で20種類のシールを作成

こども絵画コンクール入賞作品を表彰

夏休みに募集した「2022年度ジオパークこども絵画コンクール」の入賞作品選出が行われ、最優秀作品3点を含む入賞作品45点を表彰しました。1月7日(土)に修善寺総合会館にて行った表彰式には、域内各地から22名が参加し、表彰状を授与しました。

このコンクールは2017年度より開催しており、今年度は域内の小中学生から合わせて70点の作品の応募がありました。入賞作品は2月末まで伊豆半島各地で巡回展示を行っています。

各部門の最優秀作品賞



《新年のご挨拶》

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。前号でお伝えしたユネスコ世界ジオパーク再認定審査の結果が12月にユネスコから公表され、ユネスコ世界ジオパークの認定をさらに4年間受けることができました。域内での教育活動も一定の評価を得て、教育関係の皆様のご協力もあっての再認定となりました。引き続き各種プログラムの充実に励んでまいりますので、ぜひご活用ください。